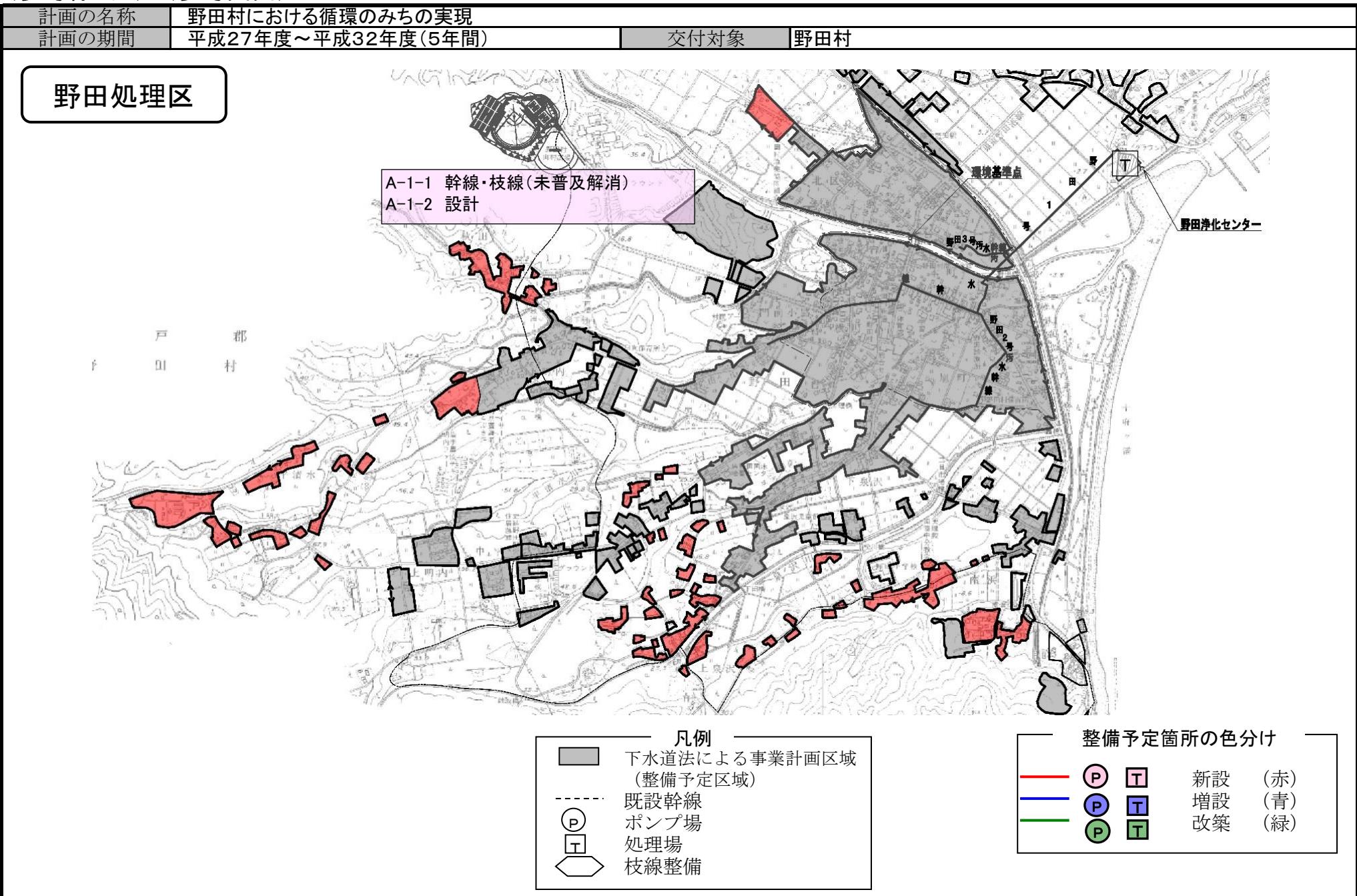


社会资本総合整備計画

平成 28 年3月18日

(参考様式3) (参考図面)



社会资本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業タイプ)

計画の名称:野田村における水循環のみちの実現

市町村名:野田村

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等	
1)都道府県構想(見直し予定を含む)に適合している。	<input type="radio"/>
2)流域下水道事業と整合性が確保されている。(流域関連公共下水道のみ)	<input type="radio"/>
3)市町村独自の下水道整備計画と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②目標値および内容の妥当性	
1)計画人口は適正な数値となっている。(人口普及率等を目標とした場合)	<input type="radio"/>
2)緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 該当するものに○ ・施設の長寿命化対策 ・浸水対策 ・合流改善 ・処理場の増設 ・汚泥処理施設 ・地震対策	<input type="radio"/> 該当なし
II. 整備計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4)指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5)下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1)十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	<input type="radio"/>
2)河川等の水質改善に効果がある。	<input type="radio"/>
3)地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	<input type="radio"/>
III. 整備計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)市町村独自の中期計画に基づいた計画になっている。	<input type="radio"/>
2)都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。	<input type="radio"/>
3)継続的な汚水処理(雨水処理)の展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
4)地域の実状に応じた計画になっている。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2)事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>
3)下水道法の事業計画に位置付けられている。	<input type="radio"/>